

★チャレンジ！夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

4年生、社会科校外学習を行いました！！

7月2日（火）、4年生が社会科の校外学習を行いました。4年生は社会科で「住みよいくらし～飲み水はどこから～」の学習をこれまで行ってきました。今回は、そのまとめの学習として、午前中は大曲にある宇津台浄水場を訪問しました。子どもたちは、大仙市役所水道課の〇〇さんに丁寧に案内していただき、様々な機械を実際に見ながら川の水や山からの湧き水がどのようにしてきれいになり、私たちの家庭に届くのかを詳しく教えていただきました。見学をしながら、「大仙市では、1日にどれくらいの水が使われているのだろうか？」「浄水場ではどれくらいの人働いているのだろうか？」「水を取水してからきれいな水になるまで、どれくらいの時間がかかるのだろうか？」などと疑問をもち、〇〇さんに質問しながら、子どもたちは、普段飲んでいる水がどれだけの手間と工夫を経て安全なものになっているのかを実感することができました。浄水場の見学を通して、子どもたちは水の大切さを改めて実感するとともに、環境について考える貴重な機会となりました。



午後からは県立農業科学館に移動し、学芸主事の〇〇さんから秋田を代表する先人である石川理紀之助について、クイズを交えながら詳しく教えていただきました。石川理紀之助といえば、明治時代後半から大正時代にかけて貧しい農家の救済に生涯を捧げた人物として全国的にも有名であり、「寝ていて人を起こすことなかれ（他人に何かを求める前に、まず自分が率先して行動すべきだ）」という言葉を残した人物でもあります。中村さんからは、「石川理紀之助は、強い意志をもって、どんなときも学び、行動力をもって仲間とともに頑張った人です」と話がありました。このことは、現代の私たちにも通じる生き方ではないかと思えます。その後、職員の〇〇さん、〇〇さんから教えていただきながらオリジナルの「しおり作り」を行いました。押し花を使い、それぞれが思い思いにしおりを作っていました。



天候にも恵まれ、充実した社会科校外学習となりました。4年生の社会科は秋田県の勉強が中心になります。今回学んだことを、これからの社会科の授業に活かしてほしいと思います。

連絡

7月8日（月）には、第3回全校国語テストが行われます。御家庭でも温かい励ましをお願いします。